

【防災情報】北上川ダム統合管理事務所 風水害情報（終報）
～ 御所ダム、湯田ダムの効果について～

6月24日の前線による降雨で、御所ダム、湯田ダムにおいて洪水貯留を行い、適切なダム操作を行うことにより、下流河川の水位上昇抑制に効果を発揮しました。

御所ダムでは、約2,527万 m^3 の水を貯め込み、湯田ダムでは、約5,023万 m^3 の水を貯め込みました。

なお、御所ダムではダムへ流れ込んだ最大の水の量が1,671 m^3/s （ダム完成以来3番目）を記録し、湯田ダムでは流域内で6月の降雨量が過去最大となりダムへ流れ込んだ最大の水の量が1,975 m^3/s （ダム完成以来2番目）を記録しました。

御所ダムの洪水貯留効果について

今回の出水で、御所ダムで貯めた水の量は約2,527万 m^3 となります。

ダム下流の太田橋地点で約1.7mの水位上昇が抑制されたと推定されます。

（北上川ダム統合管理事務所の計算値より）

	流域平均	最大流入量	最大流入量	最大流下量	調節量	貯め込んだ
	累加雨量	発生日時				水の総量
御所ダム	162.7 mm	6月24日 8:20	1671.63 m^3/s	848.45 m^3/s	823.18 m^3/s	2,531 万 m^3

流域平均累加雨量：降り始めから最大流入量を記録する直前（6/24, 8:20）までの速報値

最大流入量：ダムに流れ込んだ水量の最大値

最大流下量：ダムから下流へ流した水量の最大値

調節量：最大流入量と最大流下量の差

貯めた水の量は、他の施設の容量に単純換算すると以下のとおりとなります。

- ・岩手県庁に貯めた場合：約297杯分に相当（岩手県庁の容積8万5千 m^3 ）
- ・東京ドームに貯めた場合：約20杯分に相当（東京ドームの容積124万 m^3 ）

湯田ダムの洪水貯留効果について

今回の出水で、湯田ダムで貯めた水の量は約 5,023 万 m³ となります。
ダム下流の広表地点で約 1.7 m の水位上昇が抑制されたと推定されます。
(北上川ダム統合管理事務所の計算値より)

	流域平均	最大流入量	最大流入量	最大流下量	調節量	貯め込んだ
	累加雨量	発生日時				水の総量
湯田ダム	252.8 mm	6月24日 9:50	1975.32 m ³ /s	397.46 m ³ /s	1580.66 m ³ /s	5,023 万 m ³

流域平均累加雨量：降り始めから最大流入量を記録する直前（6/24, 9:50）までの速報値

最大流入量：ダムに流れ込んだ水量の最大値

最大流下量：ダムから下流へ流した水量の最大値

調節量：最大流入量と最大流下量の差

貯めた水の量は、他の施設の容量に単純換算すると以下のとおりとなります。

- ・岩手県庁に貯めた場合：約 591 杯分に相当（岩手県庁の容積 8 万 5 千 m³）
- ・東京ドームに貯めた場合：約 40 杯分に相当（東京ドームの容積 1 2 4 万 m³）

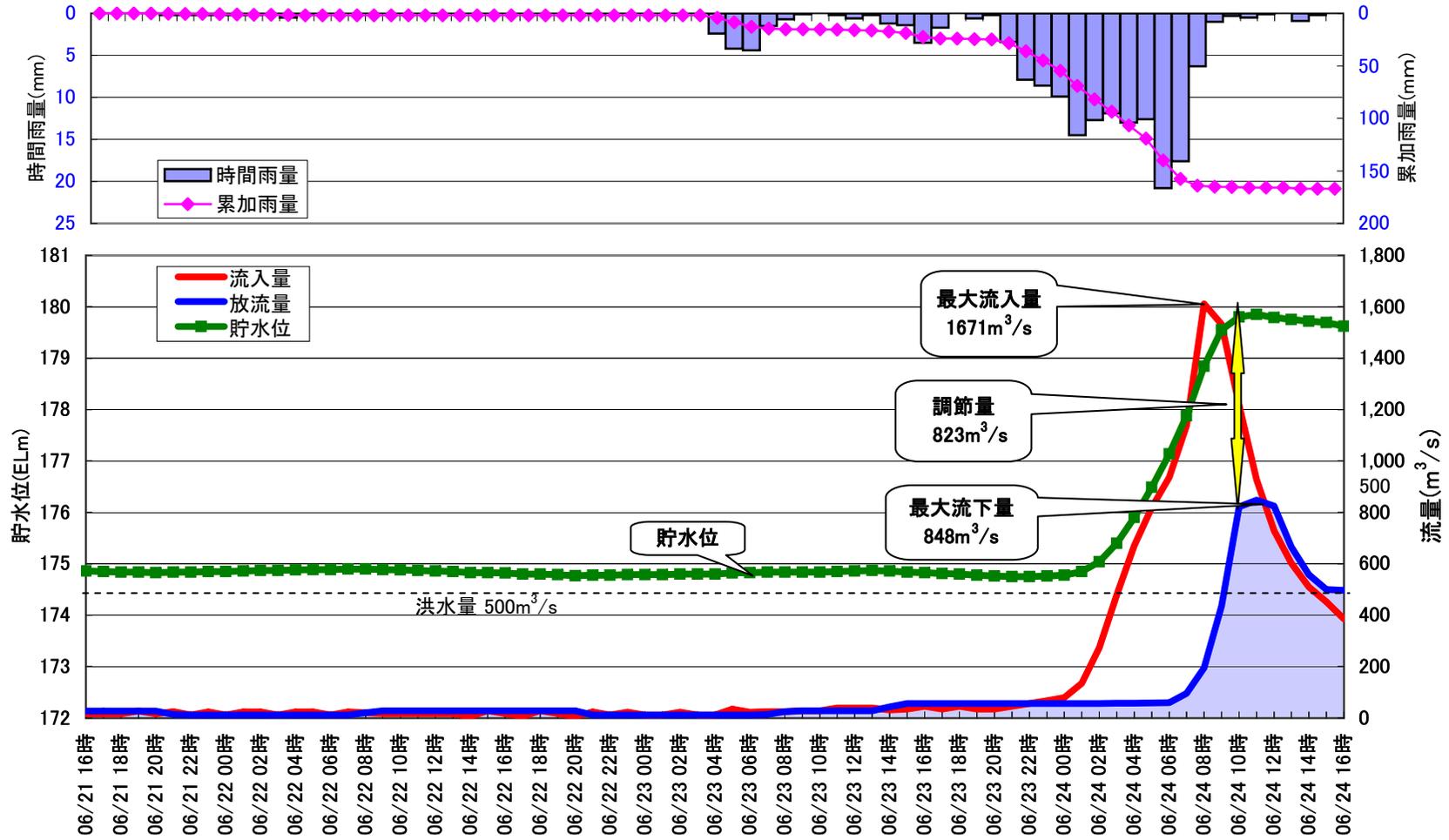
ダムに関する情報につきましては、当事務所のホームページでご覧頂けます。

ホームページ URL <http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>

発表記者会：岩手県政記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省 北上川ダム統合管理事務所 副所長（技術） 本田 英則 管理第一課長 砂子 勉 019-643-7831（代表）

御所ダム 洪水調節状況図



湯田ダム 洪水調節状況図

